

AMD Aで活動の高校生

南海トラフに備え

高知・黒潮町中高生と ネットで交流

近い将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震に備えるため、国際医療ボランティアAMD A（岡山市北区伊福町）は24日、AMD Aでボランティアを行っている岡山、広島県の高校生4人と、地震により高さ34層の津波の到来が想定されている高知県黒潮町の中

高生16人とのオンライン交流会を行った。交流会はビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を使って開いた。4人は東日本大震災の被災地で、津波が来たら人に構わず逃げろという意味の「津波でんでんこ」の教えを知ったことや、AMD

Aスタッフから学んだ避難所での感染症対策の大切さを伝えた。黒潮町の中高生は、200人以上を収容できる町内の「津波避難タワー」を紹介。犠牲者ゼロを目指し、地域のお年寄りと一緒に繰り返し避難訓練を行っている」と説明した。



黒潮町の中高生とオンラインで交流する岡山、広島県の高校生たち＝岡山市北区伊福町

参加した朝日高2年太田光瑠さん(17)は「私たちも地域を挙げ

て防災活動に取り組みたい」と語った。AMD Aは黒潮町と

岡山県などの中高生との交流会を2017年から毎年開催。今回は新型コロナウイルスの感染防止のためオンライン形式にした。

（石井聡）